

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	わくわくキッズ倶楽部喜入		
○保護者評価実施期間	令和7年12月10日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和8年1月10日		～ 令和8年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月9日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の満足度、評価が概ねよい。	利用や支援計画について、保護者の意向を大切にしている。子ども達が楽しく過ごせるような活動プログラムや関わり方を考えている。	ニーズの把握を行う。活動プログラムの工夫をする。保護者や関係機関と連携をとりながら支援していく。
2	アセスメントや支援内容について、職員間で共有している。	半年ごとのアセスメントやケース検討は全職員で行っている。支援計画はいつでも閲覧できるようにしている。日々のミーティングで情報を共有している。	計画に沿った支援ができるよう、職員のスキルを向上させる。
3	こどもが自己選択や自己決定ができるような支援を行っている。	イベントの計画や準備にこどもたちが参加し、自分たちで決める経験をしている。活動内容やおやつについて、子どもたちから意見を取り入れている。利用に関して、本人の希望も取り入れている。	特になし。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・情報発信の弱さ	・情報発信のツールが月一回のお便りと不定期のブログのみ。SNSは利用していない。他の業務との兼ね合いもあり頻度を上げることが難しい。・緊急時対応などは契約の際に伝えているが、アンケート結果から見ると印象に残っていないことがうかがえる。	・個人情報に注意しながらブログの更新頻度をあげる。
2	・地域との関わり	・地域との交流を実施するための相手がわからない。日々の業務で手一杯で、ニーズの把握や児童クラブ等への働きかけができない。	・利用児が利用している児童クラブに、交流行事の可能性について打診相談してみる。
3	・保護者やきょうだい児への支援	・保護者会や親子活動の回数が少ない。保護者会やきょうだい児同士の交流会をする場合、場所(収容人数)の問題や、内容(提供するプログラム)が課題となる。	保護者会、親子療育、季節の行事など家族で参加できるプログラムを検討してみる。